



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 カシオ計算機株式会社

コード番号 6952 URL <http://casio.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 櫻尾 和宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 財務・IR担当

(氏名) 高木 明德

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-5334-4852

平成28年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	156,700	△9.9	13,480	△37.7	8,227	△62.2	6,387	△58.6
28年3月期第2四半期	173,994	8.7	21,633	36.8	21,743	32.7	15,413	48.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,614百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 11,210百万円 (△11.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	24.92	24.44
28年3月期第2四半期	58.98	57.89

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	348,550		194,729			55.9
28年3月期	368,454		202,111			54.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 194,729百万円 28年3月期 202,111百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	17.50	—	22.50	40.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	△6.3	30,500	△27.7	25,500	△37.9	18,000	△42.3	70.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) — 、 除外 一社 (社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	269,020,914 株	28年3月期	269,020,914 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	12,689,986 株	28年3月期	12,688,923 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	256,331,524 株	28年3月期2Q	261,337,344 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、平成28年5月11日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。
- 2.決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当上半期における内外経済は、米国では緩やかな回復基調で推移した一方、新興国の低迷、急激な為替変動、英国のEU離脱問題等により、先行き不透明な状況で推移しました。

この環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,567億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが1,330億円、システムが191億円、その他が44億円となりました。

時計はGPSハイブリッド電波ソーラー搭載「G-SHOCK」、Bluetooth®でスマートフォンと連携する「EDIFICE」の売上が好調に推移しました。電卓は海外の国別ニーズに最適な関数電卓が好調に推移しました。

損益につきましては、コンシューマは170億円の営業利益となりました。時計は製品ミックスの改善により高収益性を維持しました。電卓は海外で関数電卓の好調により収益性を確保しました。システムは推進中の構造改革施策の影響により14億円の営業損失となりました。その他は1億円の営業利益となりました。この結果、調整後の連結合計として134億円の営業利益となりました。また、急激な円高により経常利益は82億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は63億円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末比199億円減少の3,485億円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の減少などにより、前連結会計年度末比73億円減少の1,947億円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1ポイント増の55.9%に改善されました。

キャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは126億円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは24億円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは63億円の支出となり、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比36億円減少の1,243億円となりました。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的且つ強靱な財務体質の構築に取り組みます。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

急激な円高の影響及びシステム事業の構造改革推進に向けた生産・販売調整等により、平成28年5月11日に公表した平成29年3月期の通期連結業績予想を以下の通り修正いたします。

#### 【連結業績予想】

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成28年5月11日発表)	3,700	480	460	330
今回修正予想 (B)	3,300	305	255	180
増減額 (B - A)	△400	△175	△205	△150

第2四半期連結累計期間の実績に加え、引き続き円高基調が予想されること及びシステム事業の構造改革に伴う影響等により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想を下回る見通しとなりました。

今期は一過性の要因から減収減益となりますが、0→1のカシオとして培ってきた商品企画力と独自の技術力により、強靱な収益力を固め、将来の大きな成長に繋げて参ります。

(注) 業績見通しについて

①為替水準は1US\$ = 103円、1ユーロ = 114円を想定しております。

②業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。この変更が損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	66,648	64,694
受取手形及び売掛金	47,843	41,402
有価証券	55,600	60,000
製品	43,082	38,385
仕掛品	6,943	4,057
原材料及び貯蔵品	7,751	7,010
その他	22,871	19,061
貸倒引当金	△501	△461
流動資産合計	250,237	234,148
固定資産		
有形固定資産		
土地	36,091	35,111
その他(純額)	24,791	23,403
有形固定資産合計	60,882	58,514
無形固定資産		
投資その他の資産	6,309	6,554
投資有価証券	34,407	33,376
退職給付に係る資産	9,113	9,521
その他	7,577	6,502
貸倒引当金	△71	△65
投資その他の資産合計	51,026	49,334
固定資産合計	118,217	114,402
資産合計	368,454	348,550

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,542	28,219
短期借入金	260	158
未払法人税等	4,334	2,155
製品保証引当金	779	789
その他	39,653	37,214
流動負債合計	79,568	68,535
固定負債		
新株予約権付社債	10,033	10,028
長期借入金	67,000	67,000
退職給付に係る負債	1,338	1,092
その他	8,404	7,166
固定負債合計	86,775	85,286
負債合計	166,343	153,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	65,058	65,059
利益剰余金	100,041	100,661
自己株式	△20,291	△20,293
株主資本合計	193,400	194,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,781	7,056
為替換算調整勘定	△1,844	△9,010
退職給付に係る調整累計額	2,774	2,664
その他の包括利益累計額合計	8,711	710
純資産合計	202,111	194,729
負債純資産合計	368,454	348,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	173,994	156,700
売上原価	95,376	92,348
売上総利益	78,618	64,352
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	17,988	16,795
その他	38,997	34,077
販売費及び一般管理費合計	56,985	50,872
営業利益	21,633	13,480
営業外収益		
受取利息	253	207
受取配当金	296	205
その他	41	119
営業外収益合計	590	531
営業外費用		
為替差損	56	5,453
その他	424	331
営業外費用合計	480	5,784
経常利益	21,743	8,227
特別利益		
固定資産売却益	3	398
その他	—	73
特別利益合計	3	471
特別損失		
固定資産除却損	24	67
減損損失	262	19
特別損失合計	286	86
税金等調整前四半期純利益	21,460	8,612
法人税等	6,047	2,225
四半期純利益	15,413	6,387
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,413	6,387



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	15,413	6,387
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,182	△725
為替換算調整勘定	△814	△7,166
退職給付に係る調整額	△207	△110
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△4,203	△8,001
四半期包括利益	11,210	△1,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,210	△1,614
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	21,460	8,612
減価償却費	4,314	4,518
減損損失	262	19
固定資産除売却損益(△は益)	21	△331
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△78	△133
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△488	△408
受取利息及び受取配当金	△549	△412
支払利息	215	170
為替差損益(△は益)	△348	1,869
売上債権の増減額(△は増加)	501	3,958
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,149	4,964
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,714	△4,797
その他	△800	△1,548
小計	17,647	16,481
利息及び配当金の受取額	596	472
利息の支払額	△212	△173
法人税等の支払額	△3,077	△4,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,954	12,654
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△217	△563
定期預金の払戻による収入	896	561
有形固定資産の取得による支出	△3,145	△2,301
有形固定資産の売却による収入	38	1,335
無形固定資産の取得による支出	△1,726	△1,837
投資有価証券の取得による支出	△44	△19
投資有価証券の売却及び償還による収入	8,025	463
その他	△60	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,767	△2,400
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△13	△102
自己株式の取得による支出	△9	△2
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△470	△462
配当金の支払額	△5,880	△5,767
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,372	△6,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	236	△7,614
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,585	△3,693
現金及び現金同等物の期首残高	110,737	128,057
現金及び現金同等物の四半期末残高	123,322	124,364

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	148,866	20,981	4,147	173,994	—	173,994
(2) セグメント間の内部 売上高	1	15	5,241	5,257	△5,257	—
計	148,867	20,996	9,388	179,251	△5,257	173,994
セグメント利益 又は損失(△)	24,924	△932	△204	23,788	△2,155	21,633

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,155百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,155百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	133,080	19,194	4,426	156,700	—	156,700
(2) セグメント間の内部 売上高	1	15	3,446	3,462	△3,462	—
計	133,081	19,209	7,872	160,162	△3,462	156,700
セグメント利益 又は損失(△)	17,089	△1,414	164	15,839	△2,359	13,480

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,359百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,359百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。